

工 程 管 理

1 実施工程表の提出について

(1) 実施工程表は工事の進行を確認するため、受注者が工事着手前に第1回目を、その後は毎月初め(請負金額4,500万円未満は2ヶ月に1回)に提出するものとする。

なお、1,000万円未満の工事の実施工程表の提出については監督員と協議のうえ第2回目から省略することができる。

(2) これ以外の詳しい様式にて管理するときは、その様式を提出して良い。

2 記入要領

(1) 工種は、工事数量総括表の工種を記載する。(工種以外でも必要なものは、記載する。)

(2) 予定工程は黒実線をもって表示する。また、変更契約の工程は下段に黒点線もしくは赤実線をもって表示する。

(3) 工程の上段には予定数量を、下段には実績数量と出来高パーセントを()書で記入する。

1, 0 0 0

(4) 予定数量を変えるときは ~~2, 0 0 0~~ のように前回の予定を線引きし上に新計画を記入する。

(5) 変更のあったときはその時点で変更数量により予定を組み替え提出する。

【工事出来高報告表】

4, 0 0 0

(1) 予定金額工程を変えるときは ~~3, 0 0 0~~ のように前回の予定を線引きし、その上に新計画を記入する。

(2) 実施金額工程は実施工程表提出時点の出来高を記入する。

(3) 変更のあったときはその時点で変更額により予定金額工程及び実施金額工程の累計パーセントを訂正し提出する。

実施工程表・工事出来高報告表 記入例 1

工事名	〇〇改良工事	工 期	〇〇年8月1日～〇〇年3月20日	受注者	(株)〇〇〇〇建設 代表取締役 〇〇 〇〇
契約番号	〇〇〇〇〇〇	契約 変更年月日	〇〇年8月1日	現場代理人	△△△△ 印
位 置	岡山市北区〇〇地内	金額	請負 変更請負 ¥50,000,000	主任(監理) 技 術 者	△△△△ 印

実 施 工 程 表

第3回平成〇〇年10月1日
第2回平成〇〇年 9月1日
当 初平成〇〇年 8月1日計画

工 種	種 別	数 量	所要 日数	月 別 ()は%										摘 要				
				8	9	10	11	12	1	2	3							
準 備 工	1 式	20	20	100 (100)														
土 工	掘 削	m3 6,000	60	500 600 (10)	100 120 (30)	1700 1400	1500	1000										
	願 掘 削	m3 500	25		200 150 (30)	120 140	230 200											
擁 壁 工	擁 壁 コンクリート	m3 2,000	20		1000 800 (40)	700 500	500											
	積ブロック	m2 500	40		120 100 (20)	200 140	200 140											
排 水 工	U型側溝 U4-B300	m 500	40		50 0 (0)	250 200	50	200										
	角フリューム 呼称 300	m 300	25				180	200										
後 片 付	1 式	20	20															

工事出来高報告表

予 定 金 額 工 程	500	8,000	12,500	8,200	10,200	7,000	4,000	500										
実 施 金 額 工 程	600 (1)	7,000 (15)	12,000 ()	8,000 ()	10,000 ()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()

()は累計%

(工程表記載例)

様式施-1の1(契第3条関係、仕第3-1-1-2条関係)

工 程 表

令和〇年〇月〇日

岡山市長 殿

工事名 〇〇改良工事
工 期 自 令和〇年〇月〇日 至 令和〇年〇月〇日

住 所 岡山県〇〇市〇〇1-2-3
商号又は名称 株式会社 〇〇建設
代表者氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

工 種	7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			
	1 日	11 日	21 日	1 日	11 日	21 日	1 日	11 日	21 日	1 日	11 日	21 日	1 日	11 日	21 日	1 日	11 日	21 日	
準備工		■																	
土工																			
掘削				■															
岩掘削					■					■									
擁壁工																			
擁壁コンクリート						■				■									
積ブロック						■					■								
後片付け													■						

・用紙サイズはA4又はA3とし、工種が多い場合や工程が長い場合は、複数枚としても良いが、極力少ない枚数とすること。
 ・行や列が不足する場合は、適宜追加すること。

- 記載要領 1 工種は工事数量総括表の工種を記載する。(工種以外でも必要なものは、記載する。)
 2 予定工程は黒実線をもって表示する。

(変更工程表記載例)
様式施-1の2

変 更 工 程 表

令和〇年〇月〇日

岡山市長 殿

変更回数を記入する

工事名 ○〇-〇〇-〇〇 単県 道路工事(擁壁)
 工期自 令和〇年〇月〇日 至 令和〇年〇月〇日
 変更工期自 令和〇年〇月〇日 至 令和〇年〇月〇日

(第〇回変更)

住 所 岡山県〇〇市〇〇1-2-3
 商号又は名称 株式会社 〇〇建設
 代表者氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

工 種	7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月		
	1	11	21	1	11	21	1	11	21	1	11	21	1	11	21	1	11	21
準備工		—	—	—														
土工																		
掘削				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
岩掘削				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
擁壁工																		
擁壁コンクリート					—	—	—	—	—	—	—	—	—					
積ブロック					—	—	—	—	—	—	—	—	—					
後片付け														—	—	—	—	—

変更工程は下段に
黒点線または赤実線で表示する

- 記載要領 1 工種は工事数量総括表の工種を記載する。(工種以外でも必要なものは、記載する。)
 2 当初契約の工程は黒実線をもって表示する。また、変更契約の工程は下段に黒点線もしくは赤実線をもって表示する。